

コンクール地区予選の体調管理と参加・鑑賞について

～ フローチャート からの Q & A ～

全ての来館者が「安心」し、「安全」に大会を実施するための指標です。基本的には実行委員会資料のフローチャート通りです。この資料は、そのフローチャートにて明確になっていなかった部分を調整しまとめたものです。参加される団体で必ずご確認ください。

原則、発熱や風邪症状などの体調異常があった場合は医療機関にて受診してください。医者から「各種検査不要」や「出演問題無し」と診断されれば参加できます。または、検査で「陰性」が確認されれば参加できます。大会当日、自宅待機の場合はその演奏者は参加できません。

Q1

●平熱が高く毎日のように37℃を超えているのですが、その場合はどうしたら良いですか？
→大会当日前2週間以内で37℃を超えた場合は受診してください。医師が検査（PCRや抗原など）を必要と診断した場合は検査を受けてください。医師が検査不要と診断した場合、または検査で陰性と確認された場合は全員参加できます。陽性の場合はその該当者本人は参加できません。併せて、他の出演者が濃厚接触者と判断された場合は、その団体も参加できません。

Q2

●前々日など大会前に熱があったのですが、当日は下がりました。参加できますか？
→発熱した本人が未受診の場合は、該当者本人も他の出演者も全員参加できません。

Q3

●受診した際、連盟に医療機関からの診断書の提出は必要ですか？
→特に必要ありません。

Q4

●2週間の期間に発熱や風邪症状が無く医療機関に行っていませんでした。しかし本番当日の朝、37.5℃以上の発熱があります。どうしたら良いですか？
→まずはその団体の責任者や顧問の先生に連絡をしてください。そしてすぐに医療機関にて受診してください。医師が検査（PCRや抗原など）を必要と診断した場合は、検査を受けてください。医師が検査不要と診断した場合、または検査で陰性と確認された場合は、その該当者以外の出演者は参加できます。しかし、置賜地区の医療現場では、当日結果を知ることはほぼ不可能だと思います。検査結果が明らかになっていない状況では該当者本人、及び団体の参加は認められません。現状では、当日37.5℃の発熱などの場合は、参加できない可能性が大変大きいと考えられます。

Q5

●2週間の期間に発熱や風邪症状が無く医療機関に行っていませんでした。本番当日の朝も熱が確認されなかったのですが、入館時37.5℃以上の熱が確認されました。どうなりますか？

→すぐに医療機関にて受診をお願いします。医師が検査（PCRや抗原など）を必要と診断した場合は、検査を受けてください。医師が検査不要と診断した場合は、または検査で陰性と確認された場合は、その該当者以外の出演者のみ参加できます。しかし、置賜地区の医療現場では、当日結果を知ることはほぼ不可能だと思います。検査結果が明らかになっていない状況では本人、及び団体の参加は認められません。現状では、当日37.5℃の発熱などの場合は、参加できない可能性が大変大きいと思います。

Q6

●2週間の期間に発熱や風邪症状が無かったため医療機関に行っていませんでした。しかし本番当日の朝、37.0～37.4℃の発熱があります。どうしたら良いですか？

→まずはその団体の責任者や顧問の先生に連絡をしてください。そしてすぐに医療機関にて受診してください。医師が検査（PCRや抗原など）を必要と診断した場合は、検査を受けてください。医師が検査不要と診断した場合は、または検査で陰性と確認された場合は、演奏者全員が参加できます。しかし、置賜地区の医療現場では、当日結果を知ることはほぼ不可能だと思います。検査結果が明らかになっていない状況では該当者本人、及び団体全員が参加は認められません。ただし、朝の段階で所属長や団体責任者と当日の団体責任者（引率者等）が連絡をとり、所属長が参加を認めた場合は、該当者以外の参加は認めます。万が一に備え、当日の朝の段階で所属長や団体責任者と連絡を取れるようにしておいてください。

Q7

●2週間の期間に発熱や風邪症状が無かったため医療機関に行きませんでした。本番当日の朝も熱が確認されなかったのですが、入館時37.0～37.4℃の発熱が確認されました。どうなりますか？

→少し時間をおいて同じ検温器で再検温をしてもらいます。37.0℃を下まわったら全員で出演できます。下回らない場合は、また数分後落ち着いてから別の検温器で再度検温をお願いします。その段階で37.0℃を下回ったら全員が参加できます。別の検温器での再検温にておいても同程度の熱が続いたり上がったりした場合は、すぐに医療機関にて受診をお願いします。医師が検査（PCRや抗原など）を必要と診断した場合は、検査を受けてください。医師が検査不要と診断した場合は、または検査で陰性と確認された場合は全員が参加できます。しかし、置賜地区の医療現場では、当日結果を知ることはほぼ不可能だと思います。検査結果が明らかになっていない状況では該当者本人、及び団体全員の参加は認められません。ただし、受付の段階で所属長や団体責任者と当日の団体責任者（引率者等）が連絡をとり、所属長が参加を認めた場合は、該当者以外の参加は認めます。万が一に備え、当日の受付の段階で所属長や団体責任者と連絡を取れるようにしておいてください。

現在、地区内の総合病院においても感染者の入院は続いており、医療従事者の負担は未だ大きいとも伺います。また、37.5℃以上の発熱が確認されないと受診すらできない現場もあるように聞いています。掛かりつけの個人医院などの方が受診し易い場合もあるとも聞いております。「この期間にとりあえず部員全員診てもらおう」のような安易な受診は絶対に避けてください。必要に応じた受診を医療機関にお願いし、参加する本人も他の関係者も全員が安心して臨める安全な大会になるよう努めて頂きたいです。